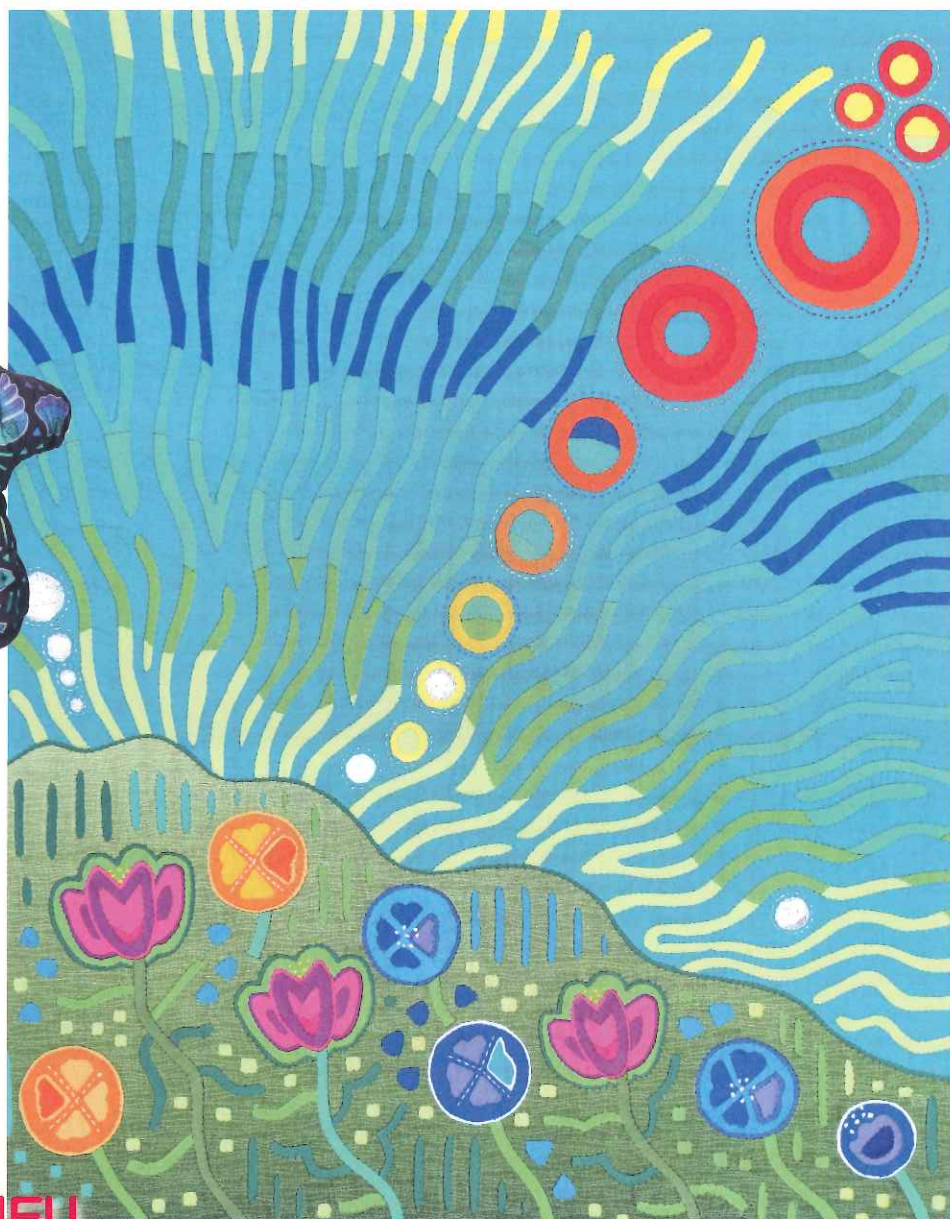
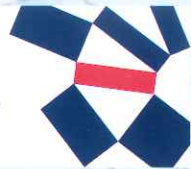


県民ゆめ応援プロジェクト  
～ギフトとfor You～

TOKYO 2020  
応援プログラム



デフモラ GIFU

# モラの手芸展

## モラで描くメルヘン

2018年 6月24日(日)～7月22日(日)

9:00～17:00 入場無料 ■会場 ぎふ清流文化プラザ 1F 文化芸術県民ギャラリー

第3回を迎える「県民ゆめ応援プロジェクト～ギフトとfor You～」の「見せたい!」企画展に応募し、選ばれた「デフモラGIFU」のはじめての展覧会になります。色彩豊かで、自然に由来した図柄を特徴とするモラは、時間と手間をかけて作られます。その色彩豊かな世界を堪能してください。動物の声や風のおいが感じられるでしょうか?



「岐阜県障がい者芸術文化支援センター」  
開所関連事業  
2018年 7月6日(金) 13:30～15:00  
文化芸術県民ギャラリーにて  
デフモラGIFUの皆さんによる実演(見学自由)



平成30年度 文化庁  
文化芸術創造拠点形成事業



ともに、つくる、つたえる、かなえる



デフモラ GIFU

# モラの手芸展

## モラで描くメルヘン



●「県民ゆめ応援プロジェクト～ギフト for You～」とは…

次世代の文化芸術の担い手を育成するとともに、新たな文化を創造するため、県民がかなえたい企画を、ぎふ清流文化プラザ内の「長良川ホール」や「文化芸術県民ギャラリー」などで実現するプロジェクトです。

●「デフモラ GIFU」

日本のモラの第一人者である中山富美子氏に師事した右高慶子氏が代表を務めています。2015年に、聾(ろう)者と健聴者がグループを結成し、今年で3年目を迎えます。徐々に人数も増え、現在では14名の女性が毎週集まって、モラの制作に励んでいます。

●「モラ」とは…

「モラ」はカリブ海のサン Blas 諸島に住むパナマの少数民族クナ族の民族衣装として作られる多重アププリケです。何枚かの布を重ね、切り込みを入れ、縫い込むことで文様を出す独特の手芸です。元来、自然界の鳥や動物、花などをモチーフにしています。日本では、手芸家である中山富美子氏が独自に進化させ、モラ手芸として人気を集めています。



### ぎふ清流文化プラザ

ともに、つくる、つたえる、かなえる

お問い合わせ

公益財団法人 岐阜県教育文化財団

岐阜市学園町3-42 ぎふ清流文化プラザ 1F

〒502-0841

TEL : 058-233-5377 FAX : 058-233-5811

<http://www.g-kyoubun.or.jp/>

✉: [gectf@g-kyoubun.or.jp](mailto:gecf@g-kyoubun.or.jp)

受付時間: 平日9:00~17:15

【駐車場のご案内】

ぎふ清流文化プラザ駐車場 (136台)

駐車料金/3時間まで100円 それ以降30分ごとに100円

・駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

・障害者手帳をお持ちの方は、駐車料金の減免があります。

【公共交通機関のご案内】

岐阜バス

JR岐阜駅10番のりばまたは名鉄岐阜(バスターミナル)Cのりば

[三田河線] 市民会館/長良川国際会議場 方面行き

「K49 城田寺団地」、「K50 長良八代公園前」、「K55 粟野西5丁目」

にて約20分。バス停「メモリアル正門前」下車 徒歩1分。

